

平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

事業名	ヒト幹細胞情報化推進事業			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	研究開発振興課			課長：神ノ田 昌博		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 再生医療等の安全性の確保等に関する法律 (平成25年法律第85号)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞に関する情報を一元化し、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベースの構築を行うことにより、ヒト幹細胞臨床研究を促進し、研究者及び患者が幹細胞治療や使用されているヒト幹細胞の利点欠点等を知ることができるようにすることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞(iPS細胞、ES細胞、疾患特異的iPS細胞を含む。)の作成・保存方法、性質等の情報を取りまとめ、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベース(日本語版・英語版)を構築する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	123	113	100	86				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	123	113	100	86	0			
	執行額		91	101	89					
	執行率(%)		74%	89%	89%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	平成28年度にデータベース へのアクセス数を30万件ま で引き上げる		データベースへのアクセス 数	成果実績	件	53,868	99,751	253,293	-	-
				目標値	件	15,000	60,000	150,000	-	300,000
				達成度	%	359	166	169	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	データベースに登録された細胞数		活動実績	細胞数	165	207	218	-		
			当初見込み	細胞数	100	100	200	200		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X / Y		単位当たり コスト	円	548,745	486,215	409,073	428,350		
	X:「執行額」 Y:「データベースに登録された細胞数」		計算式	X/Y	90,542,904 / 165	100,646,543 / 207	89,177,869 / 218	85,670,000 / 200		
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	医薬品等試験調査委託費		86							
計		86	0							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標8 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること									
		施策	革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること(施策目標Ⅰ－8－1)									
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 －年度	目標年度 28年度		
			再生医療等安全性確保法において新たに届出された再生医療等提供計画(臨床研究に限る)の件数	実績値	件	－	－	集計中	－	－		
				目標値	件	－	－	15	－	前年度以上		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	ヒト幹細胞データベースを構築し、国内外の情報を一元化することによりヒト幹細胞を用いた研究を促進し、再生医療の実用化の推進を図る。											
	アクション・プログラム	改革項目	分野	－	－							
		KPI (第一階層)			単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度		
			成果実績	－	－	－	－	－	－			
目標値			－	－	－	－	－	－				
KPI (第二階層)				単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度			
		成果実績	－	－	－	－	－	－				
		目標値	－	－	－	－	－	－				
達成度		%	－	－	－	－	－	－				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
－												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、国費を投入するべき。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、民間にゆだねることはできない。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められていることから優先度が高い。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	総合評価入札で選定しており、妥当。 (平成25年度～平成29年度までの国庫債務負担)						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	当該事業の実施に必要な経費のみを予算計上している。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	当該事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				－	－						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	事業内容の達成のために必要な経費のみの計上となっている。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				○	総合評価入札での価格競争による入札差金が生じたものであり、妥当である。						
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	必要のない作業を行わないよう、事業者とは事業の方向性等について定期的に打ち合わせを行っている。						
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	公開セミナーの開催や、再生医療等に関する社会的な関心の高まり等により、成果目標を上回る実績となった。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	国が主体的に取り組むことにより、再生医療の迅速な実用化を図ることができるため、効果的な手法である。						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	活動見込みを上回る実績となった。						
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	情報を一元管理することにより、再生医療の実用化の推進が図れるため、十分に活用されていると言える。						
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				○	類似事業では、ヒト幹細胞の情報データベースの構築、再生医療実用化研究実施拠点の整備、細胞培養加工施設の許可に係る調査、法律に基づき厚生労働省に提出された再生医療等の提供計画等の台帳管理及び検証等を実施しており、本事業とは役割が異なるため、適切な役割分担となっている。						
	所管府省・部局名	事業番号	事業名									
	厚生労働省医政局	230	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費									
	厚生労働省医政局	237	再生医療実用化研究実施拠点整備事業									
点検・改善結果	点検結果	成果実績及び活動実績について、平成26年度に引き続き目標を上回り、着実に数値を伸ばしていることから一定の効果があがっていると言える。										
	改善の方向性	国内外の大学及び研究機関等で作成・保存されている細胞情報の収集を行い、データベースに登録された細胞数がさらに増加され、研究者の研究が一層促進されるよう引き続き適切な執行に努めて参りたい。										

外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度		平成23年度	新24-0007	平成24年度	新24-006		
平成25年度	212	平成26年度	225	平成27年度	234		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
89百万円

国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞に関する情報を一元化し、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベースの構築を行う。ヒト幹細胞臨床研究を促進し、患者が幹細胞治療や使用されているヒト幹細胞の利点欠点等を知ることができるようにする。

【国庫債務負担行為(平成25年度～29年度)】

A.学校法人慶應義塾
89百万円

【研究者への情報提供、データベースの構築】

【随意契約(その他)】

B.(株)日立製作所
21百万円

【幹細胞情報化推進基盤のソフトウェアやハードウェア等の環境の構築・保守作業】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.学校法人慶應義塾			B.株式会社日立製作所		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	職員等給与	32	人件費	幹細胞情報化推進基盤のソフトウェアやハードウェア等の環境の構築・保守作業	21
	委託費	委託費	21			
	その他	役務費、消耗品費、印刷製本費等	15			
	使用料及び賃借料	施設利用料	8			
	消費税	消費税	7			
	旅費	国内外旅費	5			
	諸謝金	講師等謝金	1			
	計		89	計		21

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学校法人慶應義塾	4010405001654	研究者への情報提供、データベースの構築	89	-	-	-	-

B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立製作所	7010001008844	幹細胞情報化推進基盤のソフトウェアやハードウェア等の環境の構築・保守作業	21	随意契約 (その他)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	-